

平成 26 年版刊行の辞

平成 25 年度版は国立国会図書館への贈本、編集者（＝池田）および全執筆者の所属大学である帝京大学付属図書館(MELIC)への寄贈、同大教職員他への謹呈、それから拙いながらも自前ホームページによる web 公開等によって成果公表の実を挙げることができた。

今年度も編集者の担当演習は変わらず、1 年次から 3 年次の各年次演習を担当し、昨年度と同様のやり方を踏襲した。ただ前年度版編集会議において必要事項をほとんど決定し、かつほとんど修正の必要が生じなかったため、本年度版編集委員会の負担はずっと軽減された。また前年度寄稿者の継続寄稿もあり、そうした寄稿経験者が新規寄稿者を指導する場面もあり、編集者の負担も幾分軽減されたことも非常に助かったし、またその成長ぶりを担当教員として嬉しくも思った。

またこのような成長は次のような場面でもみられた。今年度版では編集者の実際の体験に乏しいために指導においてやや手に余るロック・ミュージックの分野に関する研究論文も出されたが、その執筆過程では昨年度版寄稿者である佐藤隆介君が、そのバンド経験と後輩育成の観点から適格な添削指導を加えてくれた。また水泳に関する論文もあり、この方面も編集者の手に余ったが、これに関しても水泳スクール指導員である 2 年次の寺島聡君による協力をえることができた。このように今年度版では寄稿者以外からの協力をえることができた。

その他、各寄稿者は各所属年次の演習において中間報告を経て、演習参加者との積極的な質疑応答を経てさらなる加筆修正を加えている。したがって本論文集そのものの著者は本論文集編集委員会としてはいるが、演習全履修者の総力によって刊行されたものである。

ところで今年度版も蛇足であっても、昨年度版と同様の観点から編集者の論文も最後に収録させてもらった。因みに収録論文は私が学部4年次のゼミ論文の一部を再構成し、加筆修正を加えたものである。

最後に今年度版も昨年度版と同じく、帝京大学から資金的援助をしていただき、夢工房の片桐務さんには今年も大変お世話になった。ここに心からのお礼を申し上げる。

法学部法律学科助教 池田雄二